

学校法人未来学舎
専門学校未来ビジネスカレッジ
学校長 田中 正吉
(公印省略)

「令和2年度 自己点検評価報告書」の公表について

令和2年度における当校の自己点検・評価を行い、結果を別添報告書としてまとめました。

ここに、自己点検・評価報告書を公表いたします。

今後は、報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校関係者各位

学校法人未来学舎
専門学校未来ビジネスカレッジ
学校長 田中 正吉
(公印省略)

令和2年度 自己点検評価報告書の公表について

令和2年度における当校の自己点検評価を行い、結果を報告書としてまとめました。ここに、自己点検評価報告書として公表いたします。今後は、本報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1. 学校の教育目標

本校の建学精神は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、職業もしくは実際生活に必要な技能と教養の向上を図るため、情報ならびに経営に関する専門的な教育を行い、社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することである。さらに本校の教育方針として、現代社会の要請、特に地元産業界の期待(地域貢献)に応えることのできる人材育成を目標に、実社会で要望され、企業で即戦力となるための技術・能力・知識を身につけさせる。同時に常識とマナーを備え、自由で明るく健康的(自由闊達)、さらに建設的な意志(未来志向)を持った社会人を育成する。具体的には、以下3つの言葉にて教育方針を表現し、その実現に向けたカリキュラムを構成する。

- ①未来志向(みらいしこう)
- ②地域貢献(ちいきこうけん)
- ③自由闊達(じゆうかつたつ)

また、学校法人未来学舎の法人理念として「とことん、いっしょに」を掲げ、学生及び家族の一人ひとりに対して親身になって支援することを目標としている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本年度は以下を重点課題とした。

- ①休退学の予防
- ②募集活動の強化。
- ③質保証への具体的取り組み。
- ④新たな学科構成への順応

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価基準:優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

評価項目	評価
1 学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3
2 学校における職業教育の特色は明確になっているか	3
3 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4

現状

・昨今のオープンキャンパスの参加者においては保護者同伴の率が年々高まってきており、結果として多くの保護者に対して学校の理念・目的などに関する周知がされており、理解と共感をいただけていることは当日の保護者アンケートのご意見・ご感想の記載をみても明らかである。またそうした保護者の子供の入学率も非常に高く、入学前の段階から理念・目的に関して適切な周知がなされている。

(2)学校運営

評価基準:優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

評価項目	評価
1 教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか(教務・財務意思決定システム制度は整備されているか)	3
3 学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3
4 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	2
5 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

現状

・2-1学校の教育方針などについては、特に学校職員の全体会議において具体的な目標とともに全職員に示された結果、より浸透してきていると思われる。
 ・2-4組織運営、校務分掌等、毎年見直しているが、有効に機能していない部分がある。わかりやすく責任が持てる組織づくりが必要。
 ・2-5順次規程、マニュアル等を作成、整備していく。
 ・2-6学校HPを中心に積極的な情報公開を行っている。

(3)教育活動

評価基準:優良...4 適切...3 要改善...2 不適切...1

	評価項目	評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	3
6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、手段、スケジュールは適切か)	2
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
10	関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントが行われているか	4
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか	3
12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	3
13	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	3

現状

・3-1,3-2,3-3教科課程の編成・実施は各学科教育目標を踏まえた上で、教育課程編成委員会を開催し学科長を中心に策定している。

・3-1,3-2,3-3各学科、教科課程より業界のニーズに対応した面積図(期間対応の授業計画書)を作成し、体系的に計画している。

・3-4シラバスについて各科目担当の意向も踏まえながら地域に根ざした人材育成に必要なカリキュラムを検討している。

・3-4国家資格の製菓衛生士試験を受けるためのカリキュラムを基にシラバスを組んでいます。

・3-4シラバスについては各主要協会の規定に基づき必要なカリキュラムを作成し、年度初めに学生に配布している。

・3-4シラバスは科目毎に作成し、学生へ配布・周知しており、今後においてもシラバスに基づいた授業展開に努めていく。

・3-4各教科シラバスを作成し年度初めに学生に配布している。

・3-5前期・後期の中間・期末時に学生授業アンケートを年4回実施している。結果は学科長を通して各教員にフィードバックし、授業改善に取り組んでいる。

・3-6授業評価については、授業参観や研究授業の実施を立案するものの、実施には至っておらず、今後の課題として積み残されている。また、授業アンケートの結果のフィードバックはある程度できるようになってきている。

・3-8成績評価・単位認定、卒業判定の基準は明確に定められており、各科目シラバス・学生の手引きに記載されている。

・3-9教員の確保については専門知識・技術等の教育と学級運営・学生指導等を両立できる人材が少なく苦労している。

・3-10教員の確保について欠員が出た場合でも素早く対応できるよう、各分野の振興協会などに相談する、または非常勤講師のコネクションから人選し、対策している。

・3-10この業界で活躍している経営者の方々ははじめ、沢山の業界関係者又は、材料屋さんなどから支援していただき、良い体制が取れてきていると思います。

・3-10連携においては現地点でも特に問題なく進められている。今年度においては教員研修が情勢の事情で行えなかった。

・3-10トリーマ分野における教員確保のための業界内連携は今後の課題とする。

・3-10動物看護専門分野における学科教員の確保については、長野県獣医師会および地元の動物病院の獣医師らの協力を得られるような関係性の構築ができています。

・3-10業界との連携は現時点では問題なく進められている。

・3-11教員の資質向上のための研修会参加等は奨励し参加している。

(4)学修成果

評価基準:優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	入学者に対する卒業率はどうか(過去3年間)	3
4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	3
5	教育・訓練および実習等を委託する場合、その目的、要望事項およびそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3

現状

・4-1現状コロナ禍にあり、ガイダンス・説明会の中止、不慣れなりリモート面接、結果が出るまでに時間を要すなど厳しい条件下、前半は苦戦したが、冬までには例年並みにすることが出来た。

・4-2検定取得率向上のため、テキストを中心に十分な学習時間を設定し、今年度の合格率を上げることができた。

・4-2本年度の製菓衛生師試験の合格率は100%でした。 障害者手帳を持っている生徒が今年はいったため合格率100%を出すことは難しいと考えていましたが、そのような生徒が合格するための授業と支援をした為、2年連続で合格率100%にすることが出来ました。

・4-2において、問題解答の時間を十分にとり、知識が定着するまで念入りに繰り返し指導する等の対応をしている。

・4-2検定取得率向上のため、十分な学習時間を設定し反復練習を重ねたことで、今年度の合格率を上げることができた。

・4-2ペットライフケア学科における検定合格率は、昨年度に比較し大幅に上昇した。
 (愛玩動物飼養管理士2級(1年生)合格率:本年度96%)
 (愛玩動物飼養管理士1級(2年生)合格率:本年度100%)

資格率向上における対策は適切に図られている。課題は「合格率を維持するため、今年度の授業法と成果を教員間で共有・強化し、次年度の資格試験に対応する。」である。

・4-2動物看護師統一認定試験の合格率は、6年連続100%を達成した。愛玩動物飼養管理士2級(1年生)合格率は本年度100%。愛玩動物飼養管理士1級(2年生)合格率は本年度95%である。資格率向上における対策は適切に図られている。課題は「全国平均合格率を大きく上回る合格率を維持するため、今年度の授業法と成果を教員間で共有・強化し、次年度の資格試験に対応する。」である。

・4-2学習時間、実習時間ともに十分な時間を設定して合格率の向上を図っている。

・4-3卒業率は3年連続して90%を切っている。1年次の休退学率も連続して5%を越えているので、1年次の休退学率5%未満、卒業率90%超を目標に対策を講ずる必要がある。

・4-4地域清掃や各種ボランティア参加は推奨しているが、評価については特別な場合を除き特にしていない。

・4-5学外実習時の依頼通知及び実習後に評価を頂いている。

(5)学生支援

評価基準:優良...4 適切...3 要改善...2 不適切...1

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	2
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3

現状

・5-1県内の専門学校、短大、四年制大学と比べても体制が整備されていると思われるが、周知が徹底されていないのと、面倒くさがるなどの理由から、体制を利用していない現実がある。

・5-2カウンセリングの体制は整っているが、外部専門員に頼っており職員の対応力を強化する必要がある。

・5-3経済的支援について、授業料納入、学生支援機構奨学金等の相談には応じているが、今後は相談記録を整え、情報共有がしやすい体制を整えたい。

・5-4学生の健康診断は行っているが、健康管理には至っていない。管理体制づくりが必要。

・5-5適度な運動不足解消のための課外活動を取り入れ、健康促進に学校全体で努めている。

・5-5コロナ禍の影響で中止にした活動もあったが、他者と協働する中での学びや運動不足解消のために、活動内容や時間を工夫して課外活動を行うなど、健康促進に学校全体で努めている。

・5-6生活環境への支援は、提携寮を廃止したため、業者紹介にとどまっている。相談に応じられるよう、近隣のアパートの情報収集も必要。

・5-7本年度は新型コロナ感染予防のため保護者説明会の開催を見合わせた。保護者を含めた連絡網などのパイプ作りを検討すべき時期に来ている。

・5-8卒業生支援は予算と人材に制約がある。

・5-9公共職業訓練を受託し、「長期高度人材育成コースパティシエ・ブーランジェ科(2年間)」2名、「基礎からのPC実務科(3か月)」上期19名、下後期18名、「会計パソコン科(4か月)」19名受講している。

・5-10学べるキャリア出張講座の他に、個別に依頼を受けた出張授業が年間数件あるのみで、あくまで受け身の体制になっている。高校等とのキャリア教育に関しては、残念ながら今のところ連携と呼べる段階には達していない。

(6)教育環境

評価基準:優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	防災に対する体制は整備されているか	3
3	自己学習に必要な図書ないし図書スペースおよびコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4
4	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4

現状

・6-1作品制作に必要な設備・機材などのメンテナンス、整備を十分に行っている。
・6-1施設、設備は常にチェックを行い、メンテナンスをしていますので問題ないと思います。
・6-1学生数が少ないため専攻別授業を行うのではなく、個々の希望を確認し時間割を作成した。設備に関しては、現状で問題はない。
・6-1各業界の協会が設定する必要な設備・備品の整備がされメンテナンスも定期的に行っている。また、機材・備品リストなどエビデンスの作成がなされている。
・6-1実際の施設・設備リスト、備品リストの作成を行い整理した。今後は整理したリストを用いた備品の管理に努めていく。
・6-1備品リストを作成しメンテナンスも定期的に行っている。今後も必要に応じて整理していく。
・6-1十分とはいえませんが、各学科の必要に応じられるよう情報収集に努め対応している。
・6-2避難訓練や各種防災設備点検は毎年実施している。各種マニュアル、機材・備蓄リストなどエビデンスの整備が不足しているので順次作成していく。
・6-4学校施設については定期的に点検を行い、必要に応じて修理、改修を行っている。
・6-4学科特有の設備については、管理状態にばらつきがあるので、校務分掌とあわせて管理体制の見直しが必要。

(7)学生の受入れ募集

評価基準:優良...4 適切...3 要改善...2 不適切...1

評価項目		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学納金は妥当か	3
3	学力の不足や障がいに対する特別な対応をしているか	4

現状

・7-1オープンキャンパスやガイダンスの参加者に均一の情報提供ができています。保護者説明会実施により高校生だけでなく家族で進路研究できるよう丁寧な説明をおこなっている。HPブログに加え、学校や学科のインスタで学生の姿を配信している。保護者のオープンキャンパス参加が多く、学費や奨学金について相談が増えているため個別相談に対応する人員と体制が必要。コロナ禍であっても常に情報提供ができるよう、WEBオープンキャンパス実施や高校オンラインガイダンスの参加が不可欠。教務部と連携し、オンライン対応を進めていきたい。

・7-2学納金は妥当であると思うが、授業料、施設設備費、教材費を精査し、中期的な見通しを検討する事も必要。

・7-3発達障がいに対して専門家を定期的に配置し対応に当たる事としたが、2年生の就職活動のサポート効果が表れてきている。

(8)財務

評価基準:優良...4 適切...3 要改善...2 不適切...1

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報の公開の体制整備はできているか	4

現状

・8-2財務管理は適切に行われてるが、予算・収支計画において改善の余地がある。

(9)教育の内部質保証システム

評価基準: 優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4
5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	2
6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	2
7	教職員に対する評価方法、評価スケジュールおよび評価の考え方等が書類として存在するか	2

現状

・9-1,9-2適正な運営はなされているが、文書管理等、今後の課題がある。
 ・9-3自己点検評価を定期的実施し、問題点の把握と改善に取り組んでいるが、人的資源の不足により改善がなかなか進まない部分もある。
 ・9-5教職員に関する職務定義や人事考課、具体的な評価手順などが相変わらず未定義であり、仕組み自体の必要性の認識から始めなければならない。

(10)社会貢献・地域貢献

評価基準: 優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

現状

・学校公開日や地域清掃に参加している。5.学生支援にも記載しましたが、公共職業訓練を受託し、「長期高度人材育成コースパティシエ・ブーランジェ科(2年間)」2名、「基礎からのPC実務科(3か月)」上期19名、下期18名、「会計パソコン科(4か月)」19名受講している。

(11)国際交流(必要に応じて)

評価基準: 優良…4 適切…3 要改善…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行い、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	-
2	学修成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	-

現状

・学校の方針として積極的な留学生募集を行っていないこともあり、留学生入学の予定は今のところない。また現在の新型コロナの影響下においては、留学生事業の様子も慎重に見極める必要がある。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1)今年度の重点課題に対する対応状況

本年度は以下を重点課題とした。

- ①休退学の予防
- ②募集活動の強化
- ③質保証の取り組み継続
- ④新学科を軌道に乗せる

本年度の対応状況は以下のようである。

①に関して

休退学率については5%以上そのまま高止まり傾向で、有効な手立が見つからず手詰まり感がある。相談体制をさらに充実させて個別対応力を向上させるとともに、教職員の質的向上による教育環境の改善を図る必要がある。次年度も引き続き重点項目として挙げたい。

②に関して

広報部と教務職員の円滑な連携と、コロナ禍にもかかわらず各学科の学修成果が好調を維持していることから、募集は大変に順調である。3年制に切り替えたことで懸念された動物看護師学科の募集状況も良い。

③に関して

新型コロナ対応下、学習機会の提供維持のために手一杯の年度であったため、質保証への取組ができなかった。主な課題として、

- ・コンプライアンス、ハラスメント等の各種規程、マニュアルの不備
 - ・教職員の評価ならびに人事制度の不備
 - ・授業評価体制の不備
 - ・卒業生支援体制の不備
- 等が挙げられる。

④に関して

本年度スタートしたゲームクリエイター学科の初年度生の授業評価も良く、2年目の募集状況も好調である。最初の卒業生を社会へ送り出すまでは慎重に見守る必要があるが、軌道に乗りつつあると思われる。

(2)学校関係者評価委員会(第7回)での意見の活用状況

学校関係者評価委員会での業務改善に対する主なご意見

- ・概ね問題なし。継続して諸問題の解決を図ることが重要であると考えます。
- ・もう少し学校PRを！！
- ・ゲームクリエイター学科に期待します。自己点検報告書は、そろそろ冊子形式にした方が良い。
- ・入試時の適性検査の課目を増やし、弱点を補う教育をし、退学を減らす。

- ・概ね問題なし。1-3については、継続しての取り組みが必要と思われます。
- ・学校の目標等が入学生にしっかりと理解されていて良いと思いました。
- ・保護者対象の説明会をし周知して頂く事は今後も大切だと思います。

- ・概ね問題なし。規定の整備および、周知に努める必要があると考えます。
- ・コンプライアンスは大切なのでマニュアル等の整備に期待します。

- ・概ね問題なし。常勤、非常勤ともに、情報の共有化の推進が必要と考えます。人材確保には目途が立ちつつあるが、授業等の評価に検討が必要と考えます。
- ・3-6についての評価理由が明確になっていなかったなので、説明が欲しかった。
- ・専門学校ならではの充実した授業が出来るよう期待しています。
- ・授業評価は必ず実施して下さい。教育の質保証のために必須です。
- ・常勤・非常勤講師の情報交換の時間を増やす。
- ・3-6の評価が1というのが気になりますが・・・。

- ・概ね問題なし。学生等への情報提供も問題無し。休退学率を減らし、各種試験合格率の向上を目指していくことが必要と考えます。
- ・資格合格率向上の為に対策をとられているのは素晴らしいと思います。

- ・概ね問題なし。学生等への支援体制も整いつつあり、これを継続する必要あり。卒業生への支援が手薄なようなのでこちらの検討が必要と考えます。
- ・卒業生への支援については、卒業生に向けての告知がなされていないと利用も難しいと感じます。具合が悪くなった時に休める場所があった方が良いと思います。

- ・概ね問題なし。
- ・学生が安全に、学びやすい環境は大事だと思います。
- ・成果と課題のコメントに統一性がない(備品リスト等)。まとめて、記述するようにして下さい。

- ・概ね問題なし。オープンキャンパス等実施し、適切に運営されていると考えます。高校等情報提供を適切に行う必要があると考えます。
- ・学校を選ぶ立場から学費などの情報提供は大切だと思います。
- ・無償化・給付型学生の募集に伴い、定員数を再考すべき時に来ている。

- ・概ね問題なし。
- ・適正に行われている事が大切なので維持して頂ければと思います。
- ・評価とコメントが不一致である。

- ・概ね問題なし。教育の質保証についての規定、評価基準の作成が必要と考えます。
- ・教職員評価は、しっかりと行うべきです。

- ・概ね問題なし。
- ・評価が4となっているが、コメントが全くないので理由が分からない。
- ・松本市社会福祉協議会のボランティア協会登録のボランティア活動の見学や参加をし、学生に一つでも自信を持てることを考える。

下記は、各ご意見への対応状況。

・保護者対象の説明会の継続を求める声をいただいた。これを受けて本年度も新入生保護者対象の学校説明会の継続と連携の強化を目標に掲げた。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で保護者対象説明会を夏期にいったん延期したものの、収束の兆しがなくまま開催のメドは立たず、やむを得ず年末年始に学校ホームページ上でオンデマンド方式のWEB説明会を実施した。保護者連絡網の構築など、さらなる連携強化は今後の課題となったままである。

・各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘いただいた。これを受けて本年度は規程の不備を洗い直し、必要なマニュアルの整備に向けて踏み出すことを目標に掲げた。しかし本年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受けて休校に踏み切ったため、不足分のカリキュラム補てんに学校全体のパワーをシフトした影響で質保証に関わる各種の活動が制限されてしまった。この課題は次年度以降に繰り越さなければならない。

・教育の質保証のために授業評価は必須であるので必ず実施するようアドバイスいただいた。これを受けて本年度は学生による授業評価の結果により対象科目を絞り、授業参観などのチェック体制を順次構築していく計画であった。しかし、これも前項と同様の理由により今年度取り組むことはできず、次年度以降に繰り越す課題となった。

・学修成果としての各種試験合格率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について改めてご指摘いただいた。これらの点について本年度も引き続き学校全体で努力を行い、一定の成果と社会からの評価をいただくことができた。

・卒業生への支援が手薄であるため検討が必要であるご指摘いただいた。これを受けて本年度は卒業生支援に関する研究を始める予定でいた。しかし、前々項と同様の理由により、次年度以降への繰り越しとなる。

・学習支援制度の無償ならびに給付型学生の募集開始にあたり、募集定員の見直しを計るべき段階に来たのではというご意見をいただいた。このため、本年度は各学科の募集定員を募集の実態に照らして見直しを計り、理事会にて学則変更を決議し届出を行った。

・教育の質保証のため教職員評価をしっかりと行うため評価基準・規程の整備を行うべきではないかとご指摘いただいた。これを受けて本年度から査定や評価の仕組みについて検討開始する方向であった。しかし、この課題も新型コロナ対策の影響を受け、次年度以降への繰り越しとなった。

<自己点検まとめ>

自己点検評価の結果として、昨年度より向上した項目は9項目、下がった項目は3項目であり、全体としては昨年度に比べ改善がみられる。特に、学修成果や募集活動などはコロナ禍にもかかわらず好調を維持し、学校の認知度も上がり、高校生に対しても進路選択にあたり明快な指針を示すことが出来ている。一方で休退学率、学生支援体制や保護者との連携については新型コロナの影響もあって評価を下げてしまった。

質保証の観点からは、

- ・コンプライアンス、ハラスメント等の各種規程、マニュアルの不備
- ・教職員の評価ならびに人事制度の不備
- ・授業評価体制の不備
- ・卒業生支援体制の不備

などが未解決の課題として残されている。現状では職員の自助努力により組織の未完成部分を補っている形であるが、このままではリスクヘッジの面で不安が残るため、改善は急務である。

以上の観点から、本年度の重点課題とした4つの項目のうち、

- ①休退学予防
- ③質保証の取組継続

の2点については、次年度の重点項目として引き続き取り組むことが求められる。

(3) 来年度の重点課題について

来年度は以下を重点課題とする。

- ①休退学予防
- ②質保証の取組継続
- ③新学科の運営及び開設準備

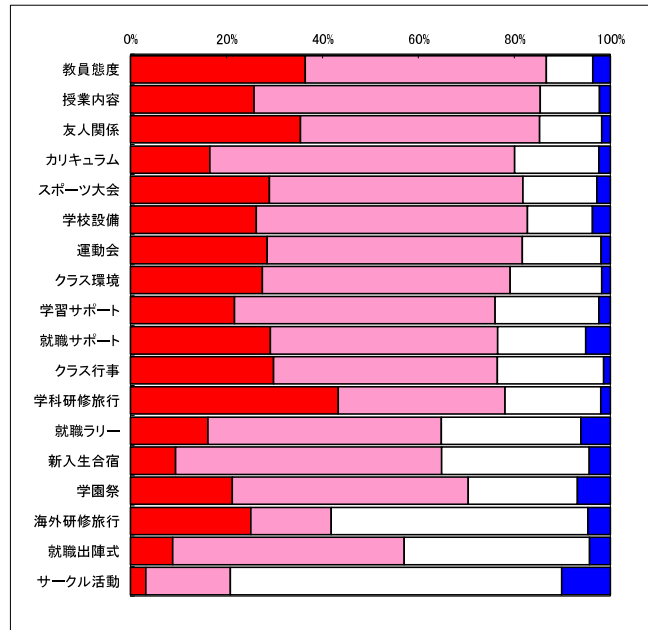
【卒業生学校評価アンケート結果（2002年～2020年卒業生）】

専門学校未来ビジネスカレッジ

1. 学業生活上の評価

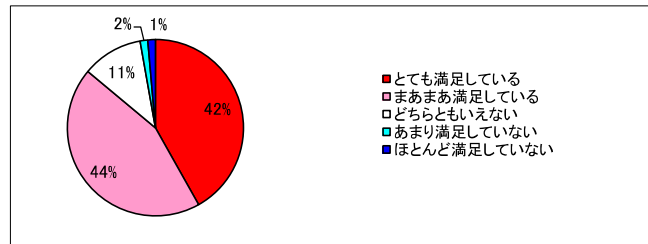
- 教員態度
- 授業内容
- 友人関係
- カリキュラム
- スポーツ大会
- 学校設備
- 運動会
- クラス環境
- 学習サポート
- 就職サポート
- クラス行事
- 学科研修旅行
- 就職ララー
- 新入生合宿
- 学園祭
- 海外研修旅行
- 就職出陣式
- サークル活動

- 特に良かった
- 良かった
- どちらともいえない
- 改善してほしい



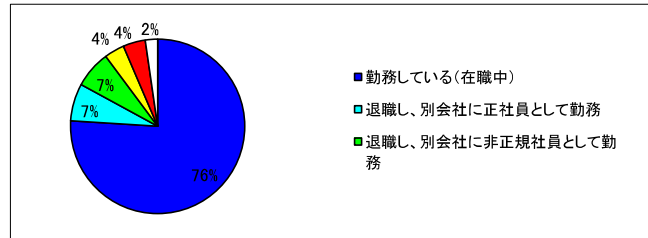
2. 学業生活の満足度

- とても満足している
- まあまあ満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- ほとんど満足していない



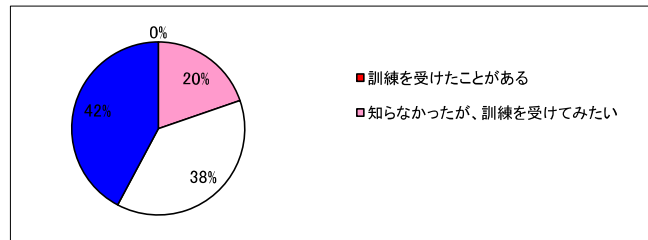
3. 卒業後、初めて就職した企業への勤務状況

- 勤務している(在職中)
- 退職し、別会社に正社員として勤務
- 退職し、別会社に非正規社員として勤務
- 退職し、現在、無職
- 卒業後、一度も正社員に就いていない
- 結婚のため退社(育児中)



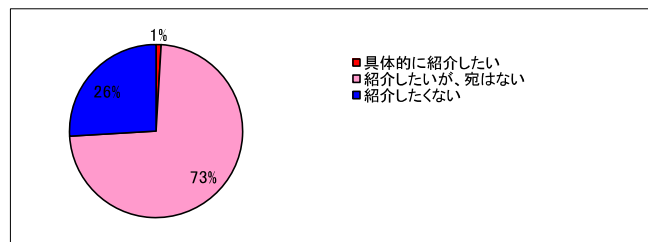
4. 社会人の職業訓練講座について

- 訓練を受けたことがある
- 知らなかったが、訓練を受けてみたい
- 知っているが、訓練を受けたことはない
- 知らなかったし、訓練に興味はない



5. 学校の紹介

- 具体的に紹介したい
- 紹介したいが、宛はない
- 紹介したくない



卒業生の皆様、アンケートにご協力ありがとうございました。

学校自己点検・評価による保護者アンケート結果(2学年)

専門学校未来ビジネスカレッジ

実施期間: 令和3年3月8日～3月31日

評価項目	4: かなり満足 3: ほぼ満足 2: やや不満 1: かなり不満 N: 良くわからない						在校生数	2年
							105名	
	質問内容						回答者数	2年
							33名	
							回答率	2年
							31.4%	
		4	3	2	1	N	無回答	平均
1	資格取得のための指導は適切に行われていると思いますか。	36.4%	57.6%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.3
2	学校が目指している法人スローガン・教育方針について、その方向性(教育理念)に満足しておられますか。	39.4%	51.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	3.4
3	本校で学ばせることに満足しておられますか。	48.5%	45.5%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.5
4	学校は、保護者の要望によく応えていますか。	24.2%	60.6%	3.0%	0.0%	12.1%	0.0%	3.2
5	学校は、学生の教育活動(成績・出席状況等)の様子を適時知らせていると思いますか。	45.5%	48.5%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	3.5
6	学校が保護者に出す文章・事務連絡等は適切ですか。	42.4%	54.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4
7	学生が満足するよう、学校生活の工夫をしていると思いますか。	27.3%	57.6%	6.1%	0.0%	9.1%	0.0%	3.2
8	職員は、職責感を持って、指導の充実に努力していると思いますか。	39.4%	48.5%	0.0%	3.0%	9.1%	0.0%	3.4
9	職員は、学生、保護者の方々に誠意を持って接していると思いますか。	42.4%	51.5%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.3
10	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていると思いますか。	33.3%	63.6%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.3
11	就職して即実践に役立つような技術の指導が行われていると思いますか。	42.4%	48.5%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	3.4
12	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	36.4%	48.5%	0.0%	0.0%	15.2%	0.0%	3.4
13	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰等を含めた人間形成の教育が行われていると思いますか。	27.3%	69.7%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.3
14	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	36.4%	54.5%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%	3.3
15	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていると思いますか。	39.4%	57.6%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	3.4

学校自己点検・評価による保護者アンケート結果(1学年)

専門学校未来ビジネスカレッジ

実施期間: 令和3年3月12日～3月31日

評価項目	4: かなり満足 3: ほぼ満足 2: やや不満 1: かなり不満 N: 良くわからない						在校生数	1年
							回答者数	1年
							回答率	1年
							無回答	41.5%
質問内容		4	3	2	1	N	無回答	平均
1	資格取得のための指導は適切に行われていると思いますか。	34.1%	54.5%	4.5%	0.0%	6.8%	0.0%	3.3
2	学校が目指している法人スローガン・教育方針について、その方向性(教育理念)に満足しておられますか。	22.7%	56.8%	9.1%	0.0%	11.4%	0.0%	3.2
3	本校で学ばせることに満足しておられますか。	38.6%	52.3%	6.8%	0.0%	2.3%	0.0%	3.3
4	学校は、保護者の要望によく応えていますか。	27.3%	38.6%	6.8%	2.3%	25.0%	0.0%	3.2
5	学校は、学生の教育活動(成績・出席状況等)の様子を適時知らせていると思いますか。	40.9%	52.3%	2.3%	0.0%	4.5%	0.0%	3.4
6	学校が保護者に出す文章・事務連絡等は適切ですか。	29.5%	59.1%	6.8%	0.0%	4.5%	0.0%	3.2
7	学生が満足するよう、学校生活の工夫をしていると思いますか。	13.6%	61.4%	11.4%	0.0%	13.6%	0.0%	3.0
8	職員は、職責感を持って、指導の充実に努力していると思いますか。	29.5%	54.5%	6.8%	2.3%	6.8%	0.0%	3.2
9	職員は、学生、保護者の方々に誠意を持って接していると思いますか。	31.8%	50.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	3.3
10	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていると思いますか。	15.9%	56.8%	15.9%	0.0%	11.4%	0.0%	3.0
11	就職して即実践に役立つような技術の指導が行われていると思いますか。	25.0%	52.3%	9.1%	0.0%	13.6%	0.0%	3.2
12	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	20.5%	50.0%	6.8%	4.5%	18.2%	0.0%	3.1
13	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰等を含めた人間形成の教育が行われていると思いますか。	27.3%	54.5%	11.4%	0.0%	6.8%	0.0%	3.2
14	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	11.4%	43.2%	13.6%	4.5%	27.3%	0.0%	2.8
15	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていると思いますか。	29.5%	50.0%	6.8%	0.0%	13.6%	0.0%	3.3